

□ 要請番号 (JL04518A17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G121 バレーボール		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・文化・科学・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

オルホン県スポーツ局

3) 任地 (オルホン県エルデネト) JICA事務所の所在地 (ウランバートル)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同局は、オルホン県のスポーツ政策の実施や各競技団体の管理をしている。職員30名(内競技コーチ7名)で、年間予算は約1,200万円。同局での管轄競技種目として主に、柔道、レスリング、サンボ、モンゴル相撲、サッカー、バスケットボール、バレーボール等が指導されている。また、同局へのJICAボランティアは1995年から2007年までにバレーボールの青年海外協力隊(JV)4名、バドミントンJV3名、卓球JV1名、エアロビクスJV1名の派遣実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

地方へのスポーツ系青年海外協力隊(JV)の派遣は、1995年にオルホン県へ派遣されたのが最初である。その後、2007年までに、合計10名のスポーツ系JVが派遣され、選抜チームの技術力向上や競技の普及に貢献した。バレーボール競技に於いても、過去にJV4名が派遣され、選抜チームの技術力が向上し、その後は他県への展開が実施された。そして、2016年にバレーボールJV6名が協働して全国指導者セミナーを開催するまでになり、バレーボールJVの活動が全国的に知れ渡りようになった。JVの派遣が終わった2008年以降、同局では現地コーチが主体で基礎技術の向上に努めてきたが、他県と比べて、次第に技術レベル・競技力が低下する結果となった。そして、2017年にバレーボールJVの活動に理解のある新局長が就任し、再びJVの力を借りて、技術力の向上を図りたいとの依頼があり、今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 同僚とともに県選抜チーム(男女)の指導をし、チーム全体での技術レベルの向上を図る。
2. 同僚に対して日本のバレーボール指導経験に基づいた助言を行う。(指導技術、指導カリキュラム等)
3. 可能な範囲で選手のコンディショニング、怪我の予防に関する指導を行う。

※バレーボールの指導は、平日午前と午後2時間ずつあり、週末は特別練習や試合等が開催される場合がある。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

体育館、バレーボール用具一式

4) 配属先同僚及び活動対象者

局長 (男性、50代)
活動対象者

C/P同僚コーチ(女性、30代、指導経験5年)
コーチ(男性、30代、スポーツ学校教師)
青年選抜チーム選手(男女各16名、10-16歳)

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：()

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験) 5年以上 備考：県の選抜チームを指導するため

[参考情報]：

- ・バレーボール指導者資格があるとよい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】